

第9回小児肝臓・肝移植セミナーのご案内と演題募集のお知らせ

主題『肝移植適応とそのタイミング』

日 時：平成29年9月30日（土曜日）13：20-16：20

場 所：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール （東京都港区三田 2-15-45）

主 催：小児肝臓・肝移植研究会

会 長：慶應義塾大学医学部 小児外科 星野健

参加費：2,000円

主題「肝移植適応とそのタイミング」というテーマで演題を募集いたします。小児疾患を扱う多くの施設からの発表をお願いしたいと考えています。

肝臓移植治療の成績も安定し、疾患に対する適応やその時期は医療の進歩とともに変革がみられています。そういった新たな時代における移植適応、移植時期の問題を各論的に議論したいと思います。

テーマとしては、

- ① 胆道閉鎖症術後年長児以降の survivor に対する肝移植のタイミング
- ② 感染症（VAHS など）における重度肝障害に対する肝移植適応、タイミング
- ③ 悪性疾患に並存する重度肝障害に対する肝移植適応、タイミング
- ④ 肝悪性腫瘍に対する肝移植適応
- ⑤ その他

②③は特殊な病態下での肝障害に対する治療方針ではありますが、移植施設なら1～2例頭をかかえる症例を経験しているのではないかと思いますし、逆に患者さんを送る小児科側、小児外科側からは移植ができないのだろうかという悩む疾患を抱えていらっしゃることを推察します。

一方、移植の適応かと思われたが、内科治療によって移植を回避し得た症例も我々移植医にとって移植の適応を考える上で勉強になります。

各施設からそのような症例を持ち寄ってみんなで患者を救える治療の一つとして肝移植がどの程度寄与できるのかを議論する機会としたいと思います。小児科施設からのエントリーも多くお願いしたいと思っています。

1例報告を詳しく突っ込んで議論するのも極めて有用と考えます。もちろん総論的な発表も歓迎です。

演題募集期間： 2017年8月1日～8月31日

演題応募方法と応募先：A4用紙1枚・本文600字以内の抄録を作成していただき、事務局長 山田洋平 (yohei@z7.keio.jp) まで メールにてお送りください。